



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内 1-2-20
 自 宅 892-9924 高知市福井町 1475-3

2021. 12. 5
 NO. 710

ビキニ被災船員調査とセットで 救済へのシンポジウム開催を

太平洋核被災支援センター 県の健康政策部長に要請

●さる25日、
 1954年のマーシ
 ャル諸島ビキニ
 環礁でアメリカ
 の水爆実験によ

り被曝した本県マグロ漁船元乗組員の被曝の実態を35年間ずっと追跡調査して「太平洋核被災支援センター」の皆さんが、県の家保健康政策部長と懇談しました。

●県が2019年3月に開催予定しコロナ感染により中止・延期していたシンポジウム開催を求め、本県被災船員の救済、励ましになるものと要請。家保部長は、要請にこたえるものとなるよう検討したいと答えました。

また、三浦市がビキニ事件を語り継ぎ後世に残すとして作成した「ビキニ事件三崎の記録」のように、県独自の公的資料集の編纂に着手するよう「高知県核実験被災資料集編纂委員会」を設置し、資料収集、県内元漁船員の被災実態調査に取り組み事も求めました。これについても家保部長はなかなか難しいとしながらも検討課題となりました。

●一方、すべての核被災者の救済を第6条で求め今年1月22日に発効し、来年3月のオーストリアで開催される「核兵器禁止条約」締約国会議に、従前の方針を添加し、参加する事を12月5日ドイツ政府が決定。世界の世論は、核実験などでの被爆者救済へと大きく動き始めています。ビキニ被災船員の救済に声を上げていきましょう。

独が方針転換し核兵器禁止条約 締約国会議へオブザーバー参加

●一方、すべての核被災者の救済を第6条で求め今年1月22日に発効し、来年3月のオーストリアで開催される「核兵器禁止条約」締約国会議に、従前の方針を添加し、参加する事を12月5日ドイツ政府が決定。世界の世論は、核実験などでの被爆者救済へと大きく動き始めています。ビキニ被災船員の救済に声を上げていきましょう。



オスプレイ配備に反対
 宿毛の空を危険地帯に
 (ないでい)!!
 宿毛市民の会が署名提出
 副知事「配備考えを」と
 今年7月14日、宿毛市長、議会議長、
 宿毛商工会議所会頭らが防衛省と河野防
 衛大臣と面談し、自衛隊の宿毛港の活用
 を求める要請書を提出しました。
 その際、出席した中谷元衆議院議員が
 「オスプレイの配備は可能ではないか」、中
 西哲参議院議員も「宿毛でも引きうけら
 れる」と発言した上で、佐氏「皆さんが

てて歩き (707)
 わたし
 はや12月。30日から1日にかけて
 の久しぶりの大雨。風・カミナリに首がす
 くみまけた。1日朝、「すこやかおえ」と
 話していると、「カミナリの写真をとろと。
 家の中からPM9:00ごろ。カメウを空に
 ぶつけているとオスプレイが飛んできて
 ビックリまけた。」との声。城山町の
 南側を西から東方面に飛行したの事だ。
 ぞろとしました。佐氏の
 頭上を、いびも訓練にしてしまう
 異常さ。ホッせぬ!! と思います。

危機感をつのうせているもの
 です。提出署名をうけとっ
 た井上副知事は、果として
 オスプレイ配備を推進する
 考えは、全くもっていな
 いと答えました。
 県事費が増強される中、
 アンテナを高く、声を上げ
 ましょう。